

## 第80回国民スポーツ大会冬季大会成績概況

### 1 大会会期及び会場

【スケート競技会】

会期:令和8年1月31日(土)~2月8日(日) 9日間 会場:青森県八戸市・三沢市

【スケート競技会】

会期:令和8年2月4日(水)~2月8日(日) 5日間 会場:青森県八戸市・三沢市

【スキー競技会】

会期:令和8年2月14日(土)~2月17日(火) 4日間 会場:青森県大鰐町・秋田県鹿角市

### 2 冬季大会総合成績

	競技得点	参加得点	総合得点	総合順位
天皇杯成績 ( )内は昨年	75点 (23点)	30点 (30点)	105点 (53点)	16位 (24位)
皇后杯成績 ( )内は昨年	24点 (16点)	20点 (20点)	44点 (36点)	17位 (16位)

### 3 各競技会成績

スケート競技会成績 ◇競技得点 成男 2点(6点) 成女 0点(1点) 少男 0点(0点) 少女 9点(4点) 合計 11点 (11点) ◇総合成績[参加得点 10点含む] ※天皇杯 21点 21位(21点 23位) ※皇后杯 19点 17位(15点 21位)	( )内は昨年成績
アイスホッケー競技会成績 ◇競技得点 成男 35点(0点) 少男 5点(0点) 合計 40点 (0点) ◇総合成績[参加得点 10点含む] ※天皇杯 50点 4位(10点 -位)	( )内は昨年成績
スキー競技会成績 ◇競技得点 成男 0点(1点) 成女 8点(6点) 少男 9点(0点) 少女 7点(5点) 合計 24点 (12点) ◇総合成績[参加得点 10点含む] ※天皇杯 34点 12位(22点 13位) ※皇后杯 25点 7位(21点 7位)	( )内は昨年成績

### 4 大会入賞者一覧

○スケート競技会

【ショートトラック競技】	少年女子 500m	並木 碧泉	6位	3点
	少年女子 1000m	並木 碧泉	7位	2点
【スピード競技】	成年男子 1500m	小川 拓朗	7位	2点
	少年女子 500m	上林 舞子	8位	1点
	少年女子 1000m	上林 舞子	6位	3点
【アイスホッケー競技】	成年男子	栃木県選抜	2位	35点
	少年男子	栃木県選抜	8位	5点

○スキー競技会

【スキー競技】	成年女子 A ジャイアントスラローム	横尾 彩乃	1位	8点
	少年女子 ジャイアントスラローム	大貫 詩旺	2位	7点
	少年男子 ジャイアントスラローム	森田 毅	5位	4点 (5点)
	少年男子 ジャイアントスラローム	大黒 巧翔	7位	2点 (4点)

※同一種目の得点対象は当該都道府県の上位2位までとする規定により、栃木県選手の得点が繰り上がっている。(少年男子ジャイアントスラロームで北海道の選手が4名入賞)

### 5 5ヶ年競技成績比較

競技名	第77回大会		特別大会		第78回大会		第79回大会		第80回大会	
スケート	94		32		30		21		21	
アイスホッケー	30		35		40		10		50	
スキー	16		21		22		22		34	
天皇杯得点・順位	140.0点	7位	88.0点	17位	92.0点	15位	53.0点	24位	105.0点	16位
皇后杯得点・順位	52.0点	12位	36.0点	20位	41.0点	17位	36.0点	16位	44.0点	17位

## 6 大会を振り返って

冬季大会では、男女総合成績で16位(105点)、女子総合成績で17位(44点)と、天皇杯は昨年を大きく上回る結果となった。皇后杯は昨年の順位をわずかに下回る結果となったが得点は昨年を上回っている。

### 【スケート】

スピードスケートでは、成年男子小川選手が1500m7位に入賞し、更に少年女子上林選手が500m8位、1000mで6位入賞の活躍を見せた。

ショートトラックでは、少年女子並木選手が1000mで県勢初の7位入賞、500mでも6位入賞と2種目での入賞を果たし今後の成長に期待が残る大会となった。

フィギュアスケートでは、成年男子2名が出場した。丸山選手は惜しくもショートプログラム突破はできなかったが、磯和選手はショートプログラムを突破しフリースケーティングへ進出した。磯和選手の最終結果は15位となり、入賞には至らなかった。

### 【アイスホッケー】

成年種別は、1回戦、宮城県に5-1と快勝。その後、2回戦で強豪の東京都、準々決勝で地元青森県、準決勝では滋賀県をそれぞれ2-1、2-0、5-3と接戦を制し、決勝まで駒を進めた。決勝は北海道と対戦。第1ピリオドに1点を先制され、第2ピリオドで1点返すも引き離され1-5で惜敗。惜しい結果となったが堂々の2位入賞となった。

少年種別は、1回戦大阪府を相手に11-0と圧勝した。2回戦では北海道に1-12と敗退した。順位戦へ進んだ選手たちは滋賀県と激突。同点ままPSOとなり4-5の1点差で敗退した。7、8位決定戦では、東京都と対戦し、序盤からリードを許す展開となり、第3ピリオドに巻き返すも1歩届かず5-8で敗退となったが、8位入賞と大きな活躍を見せた。

### 【スキー】

スキー競技会の天皇杯は34点の12位で、前回の22点から12点も得点を上回った。皇后杯は2年連続7位に入賞し得点は25点、前回大会を4点上回り閉幕した。

ジャイアントスラロームには21名の選手が出場し、成年女子Aで横尾選手がスキー競技会で全種別通じて初となる優勝を成し遂げた。少年女子で大貫選手が準優勝。少年男子では森田選手が5位、大黒選手が7位に入賞し本県の選手層の厚さを示した。また、両選手は第2シードからの滑走だったが、15位以内に与えられる次回大会の第1シード権を獲得。次回大会へ大きな追い風となりそうだ。

クロスカンントリーでは6名の選手が出場し成年男子Aで佐藤選手が21位、成年男子Cで中村選手が25位と入賞こそなかったが幅広い年齢層で着実に力を付けてきている。また、成年男子Cに出場した高松選手(58歳)は25年連続で大舞台の国スポに出場するなどの健闘をみせた。

未来のあなたを守るのは、  
今日の一歩です。

一般社団法人栃木県医師会  
会長 小沼 一郎



〒320-8503

栃木県宇都宮市駒生町 3337-1 とちぎ健康の森4階

(ホームページ) <http://www.tochigi-med.or.jp/>